Otsuka

NEWS RELEASE

大塚化学株式会社

2015 年 7 月 15 日

大塚化学　北米工場竣工

自動車ブレーキ用材料、日本・中国・北米の３拠点体制へ

大塚化学株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：原島丈治、以下「大塚化学」）は、2014 年 2 月に設立した、Otsuka Chemical America, Inc.（米国　ジョージア州）に於いて、この度「テラセス」（非繊維状チタン酸カリウム）を製造する工場を竣工しました。「テラセス」は自動車用ブレーキパッドの素材として需要が伸びており、新車販売台数ならびにブレーキパッドメーカーの開発拠点が多い米国を中心に、北南米市場へ販売を拡大してまいります。同工場は、日本、中国に次ぐ第 3 の製造拠点として設立され、その生産能力は 2,000t/年となります。

工場の生産ラインについては、これまで培ってきた日本、中国での生産ノウハウを結集した上で次世代の工場としてデザインされ、アメリカ、中国、日本のそれぞれ建設会社と機器メーカーが一体となる三国間プロジェクトで建設されました。

また、Otsuka Chemical America, Inc.は、「テラセス」の生産工場としての機能だけでなく大塚化学の北米・南米統括拠点として、大塚化学関連会社を含めたプロフィットセンターの機能を果たしてまいります。

【新会社概要】

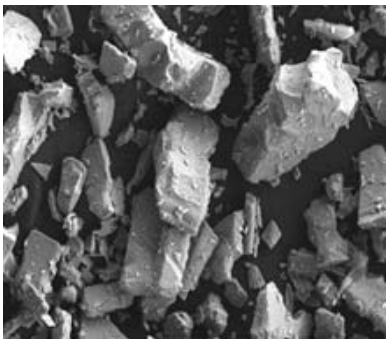
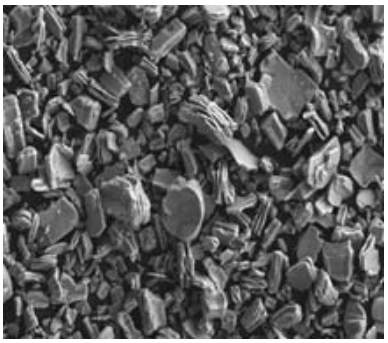
１．	会社名	：Otsuka Chemical America, Inc.
２．	所在地	：米国・ジョージア州グリフィン
３．	敷地面積	：34ACRE（13.75ha）
４．	生産品目	：テラセス(非繊維状チタン酸カリウム)
５．	竣工	：2015 年 7 月 14 日
６．	商業生産開始	：2015 年 11 月（予定）
７．	出資比率	：大塚化学 100%
８．	従業員数	：25 人
９．	生産能力	：2,000t/年

【テラセスとは】

「テラセス」はミクロサイズの粒子径を有した、板状結晶に制御したチタン酸塩です。この素材は、ミクロ補強材、摩擦材などに利用されています。

大塚化学ではこのチタン酸塩の形状制御技術の研究開発に 30 年以上に亘って取り組み、多種多様な組成及び形状を作ることに成功しました。この「テラセス」を使用することにより、ブレーキをかける際に起こる「鳴き」やパッドの摩耗のばらつきなどを抑えることができ、長期間にわたり安定したブレーキの効きを得ることができます。

大塚化学 「テラセス」の電子顕微鏡写真（自社資料）

【チタン酸塩の生産の経緯】

1979 年　大塚化学は、日本で初めて「ティスモ」（チタン酸カリウム繊維）の商業用プラントを建設し、補強材料・摺動材料として商業生産を開始。塗料の耐熱性、樹脂の強度向や自動車ブレーキパッドの摩擦摩耗特性向上などを目的として使用されている。

2000 年　「ティスモ」に加え、日本で「テラセス」を開発し生産・販売を開始。

2004 年　中国江蘇省張家港市に張家港大塚化学有限公司を設立、初の「テラセス」の海外生産を開始。

2015 年　米国・ジョージア州に「テラセス」新工場竣工。

当社は、非繊維状チタン酸カリウムを“顧客とともに地球規模（**テラ**）に成功（サク**セス**）する素材になるよう”にと願い、「**テラセス**」と名づけました。今回、日本・中国・米国を生産拠点とすることで安定供給を目指すとともに、品質の高い製品を通して、世界の人々に貢献してまいります。

会社概要

大塚化学株式会社（Otsuka Chemical Co., Ltd.）

設　　立	：	1950 年 8 月 29 日
資　本　金	：	50 億円
代　表　者	：	代表取締役社長 原島 丈治（はらしま たけはる）
本社所在地	：	〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通 3-2-27
従業員数	：	549 名（2014 年 12 月末日現在）
事業内容	：	化学品の製造販売